## 取手駅西口 歩道の改善を

結城（ゆうき） 繁 議員

**問** ウェルネスプラザ開館後、利用者から改善を求められていることはないか。

**健康福祉部長** 障害者用トイレにおむつ替えベッド設置要望があり、進めている。

**問** A街区に関し、地権者とのアンケートをこれから行うようだが、基本的には共同化で進めていくのか。

**都市整備部長** 地権者にとってどういう形が一番メリットがあって、そして、持続可能となるのかなどを検討しながら進めていく。

**問** 取手駅西口や国道6号線の横断歩道のインターロッキングがひどい状況。早急に改善を。

**管理課長** ボックスヒルの前が一番の問題箇所と考え、予算と照らし合わせて検討していきたい。

**問** 取手駅東西自由通路の完成によってウェルネスタウン構想は完結する。基金をつくるなどして、自由通路整備を進めるべき。

**都市整備部長** 現在は、東口のバリアフリー化、エレベーター整備を中心にJRと協議を進めている。A街区の形が見えてくれば、次は自由通路の検討ができると考えている。

取手駅西口ロータリー

## いじめゼロを目指せ！

倉持 光男 議員

**問** 子は国の宝。いじめのない学校確立を。過去のいじめ事件から様々な事業を展開している滋賀県大津市を視察した。取手市のいじめ認知件数は。

**指導課長** 平成26年度、小学校82件、中学校30件。27年度4月から7月で小学校20件、中学校11件。

**問** さまざまな原因があるが、不登校の児童・生徒の数は。

**答** 小学校10人、中学校51人。

**問** 問題発覚時の体制は。

**答** 内容確認後、児童生徒への指導、解決に向けた対応、教育委員会への報告体制を取っている。

**問** 勤務評定に差し支えるとして先生が隠さぬ体制は。

**答** 教員が一人で抱えないようチーム学校の考え方で指導。保護者との情報共有方法など研修を実施。

**問** いじめ防止対策法に基づいた市の責任の考えは。

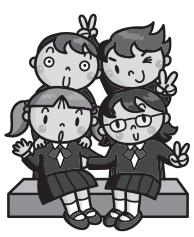
**政策推進部長** 教育委員会と連携して行っていきたい。

**問** いじめ防止啓発活動は。

**指導課長** 大津市を参考に新たな事業を検討したい。

**問** 市独自のいじめ防止条例制定を。

**市長** 形式的な条例でなく、総合教育会議の中で研究していく。



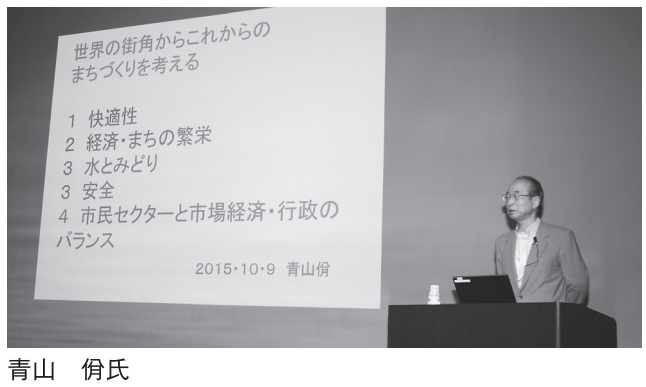
## ウェルネスプラザにて 議員研修会を実施！

**取手市議会では、議会基本条例に議員研修の充実強化を規定しております。去る、平成27年10月9日に議員研修会を開催しました。**

今回の議員研修会は、市制施行45周年及び取手ウェルネスプラザの開館を記念して、県・市・町議会議員の方や多くの市民の方にもご参加いただき、取手ウェルネスプラザ多目的ホールにて議員研修会を開催しました。

明治大学公共政策大学院教授 青山（あおやま） 佾（やすし）氏をお招きし「世界の街角からこれからのまちづくりを考える」をテーマに講演していただきました。

約200人の参加のもと開催された議員研修会




青山 佾氏

講演では、青山先生の東京都副知事時代の体験談や現在の取り組みなどを交え、様々な角度からまちづくりについてお話ししていただきました。

質疑応答では、参加者から「茨城県はなぜ魅力度ランキングで最下位なのか」等、多くの質問が挙がり、青山先生からは、茨城県の魅力についての考え方や、他市の事例などを用いてわかりやすくご回答いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。

## 解散 駅北特別委員会

取手駅北土地利用構想に関する調査研究特別委員会は、平成24年9月26日に取手駅北土地利用構想に基づいた事業の円滑な進捗を図るための調査研究を目的として設置されました。金澤委員長のもと平成26年2月17日まで運営され、その後、山野井委員長が後任を務め、神奈川県川崎市や海老名市への視察など、委員会を全22回開催し、平成27年12月11日に解散いたしました。

**〔委員会報告〕**

今後、交通結節機能を担う交通広場等、土地区画整理事業の基盤整備と土地利用が一体となったまちづくりの早期進行に努め、ウェルネスプラザを核として持続可能な中心市街地の活性化が図られるよう期待する。

ウェルネスプラザ視察の様子